学校だより　３月号

にほんまつ

相模原市立二本松小学校
2025. 2. 28

「かしこさ」
「やさしさ」
「たくましさ」

「休眠打破」と「『過程』における成長」

校長　松浦　隆志

日差しが暖かさを増し、春の訪れを感じるようになりました。最新の桜開花予報では、東京の開花は3月25日。二本松小学校の校庭の桜が満開になるのは、4月上旬になりそうです。今年は10月から1月の気温が高かったため、例年に比べて開花が遅いそうです。

桜の花が咲く条件は、①冬の寒さ　②春の暖かさ　③日当たり　の3つです。私は始めてこのことを知った時に、「冬の寒さ」という条件が自分の考えには全くなかったため、とても驚いたことを覚えています。

桜の花芽は、前年の夏には形成され、すぐに休眠して成長を止めます。そして秋から冬にかけて、低温（5℃前後）に一定期間さらされると休眠から覚めて（休眠打破）、成長し始めます。このときに、冬が暖かすぎると「休眠打破」が不十分で開花が遅れることがあるそうです。反対に、秋からの冷え込みが厳しいと休眠打破がしっかりと行われて、春先の成長が早まるとのことでした。

寒さという厳しい逆境に耐え、それを成長の糧に変えていくとも解釈できる桜の開花までのストーリー。感動を覚えるとともに「開花」という結果ではなく、「休眠打破」という「過程における成長」に目を向けることの大切さを実感しました。

子どもたちも一年間を振り返り、まとめに取り組むとともに、新たなスタートに向けて準備を始めています。中には、自分が成長したことになかなか気づくことができなかったり、友達と自分を比べてしまったりすることもあるようです。そのような子達に共通しているのは、目に見える「『結果』としての成長」だけに注目してしまっているということです。自分がしてきたことやがんばったこと、チャレンジしたことや行動したこと等、結果に至るまでの「過程」にこそ本当の成長が見えると考えています。

ただ、そうした「『過程』における成長」は、自分ではなかなか気づくことができないというのも事実です。我々教職員がそうした「『過程』における成長」に目を向けて積極的に言葉に出して伝えていくことはもちろん、活動の中で、子ども同士で伝え合い、聴き合い、応え合う機会を大切にしていきたいと考えています。ぜひご家庭でも、子どもたちの成長を言葉に出して伝える機会を作っていただけたら幸いです。そして、子どもたち一人ひとりが、自分らしく色とりどりの花を咲かせてくれるよう願っています。

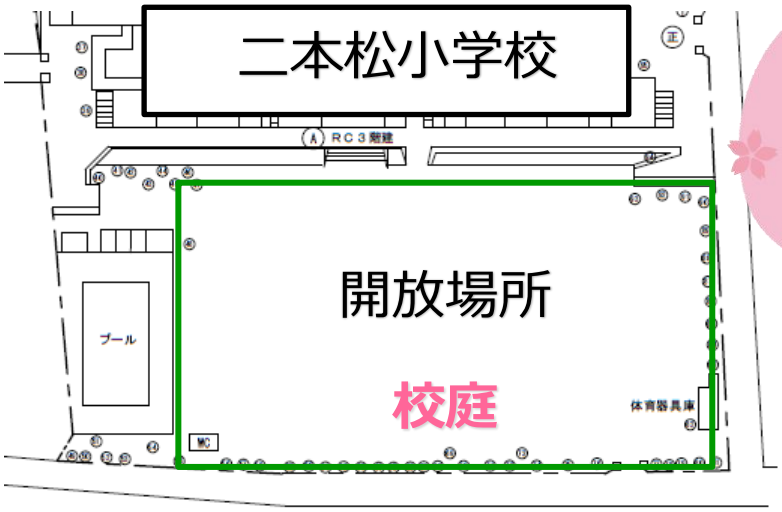
最後になりましたが、この一年間、保護者の皆様、そして地域の皆様には、二本松小学校の教育活動を支えていただきました。本当にありがとうございました。今後も引き続き、温かく見守りいただきますようよろしくお願いいたします。

二本松小学校

二本松さくらを見にきませんか。

地域の皆様、
お花見のために校庭を開放します。

やわらかな春の日差しがうれしい季節になってまいりました。日頃、地域の皆様方には二本松小学校の教育活動にご協力いただき、ありがとうございます。春休み中は二本松小校庭の桜がとても美しく咲きます。地域の方にも花見ができるように校庭を開放しますので、よかったら花見を楽しんでください。



日時：令和７年３月２６日（水）～３月28日（金）
９時～１６時の３日間

備考：ゴミは、必ず持ち帰りください。
敷地内は、飲酒、たばこは禁止です。
１６時以降は、使用できません。